

おおきくなったらなにになる？

はにゆうしりつとしょかん

「おおきくなったらなにになる？」

ディック ブルーナ/ぶん 福音館書店 E/ブ

お百姓さん、ギターえんそうしゃの演奏者、笛ふえの演奏者、サッカー選手、体操選手、柔道家…。いろいろなお仕事があるけれど、大きくなったらなにになる？



「おおきくなったらなんになる？」

寮 美千子/作 鈴木出版 E/オ

ねえ、おおきくなったらなんになりたい？ たんぼぼ、めだか、クレヨン は、大きくなったらなんになりたいのかな…？



「おおきくなったらなにになる？」

フランソワーズ/さく 偕成社 E/オ

船乗り、冒険家、それともペットやさん…。みんなは何になりたい？ 何したい？ いろんな仕事やしたいことがたくさんあるってうれしいね。



「ポピーとマックスおおきくなったらなんになる？」

リッジー ガーディナー/作 小学館 E/ポ

ポピーと犬のマックスは大のなかよし。今日も一緒に遊んでる。ポピーにはたくさんの夢がある。でもね、ポピーが一番好きなお仕事は…。



「だいくのたこ8さん」

内田 麟太郎/文 くもん出版 E/ダ

建てられない家なんてない、凄腕の大工・たこ8さんが、おかしな住人たちの家の悩みを解決します！ こんな大工さんがいたら楽しい、おもしろおしごと絵本。



「島のゆうびん屋さん」

石津 ちひろ/ぶん 理論社 E/シ

島のゆうびんやのなみこさんは、1日1度ぐるりと島をひとめぐり。おじいちゃん、おばあちゃん、クモやヤギにも、せっせとお手紙を届けます。



「おこめをつくるのうふののふさん」

室井 さと子/作 新日本出版社 E/オ

「のふ」さんは、おこめをつくっています。田植えを、近所の人と助けあって済ますと、草取りや水の管理をしたり、台風たいふうに備えたり…。



「よるのあいだに… みんなをささえるはたらく人たち」

ホリー フェイバー/作 BL出版 E/ヨ

わたしが寝ている夜も、みんなのためにがんばる人たちがいる。みんなの暮らしを支えているのは、どんな人たちなんだろう？



「給食室のいちにち」

大塚 菜生/文 少年写真新聞社 E/キ

安全あんぜんでおいしい給食きゅうしょくはどうやってつくるの？身支度から検取、調理、片づけ、献立づくりまで、小学校の給食室の現場をリアルに描く。



「水族館 いきものとひとのいちにち」

すいぞくかん いきものひとのいちにち ほんりょう 福音館書店 E/ス

水族館は、生きものひとが出合う場所。水族館に勤めていた著者が、「まちの水族館」の1日を描き、展示の工夫や、スタッフの活躍を伝える。



「博物館の一日」

いわた 慎二郎/作 講談社 E/ハ

恐竜の化石など、さまざまなものが展示されている博物館。そこで働く研究者はどんな仕事をしているの？国立科学博物館をめぐる楽しい1日を絵本で再現。



「はやおきふつくらパンやさん」

山本 省三/作 講談社 E/ハ

てっくんのお父さんの仕事は、パン屋さん。朝早くから夜遅くまで、おいしいパンを作るため忙しく働いている。パン屋さんの1日を描いた心温まるストーリー。



「巨大空港」

鎌田 歩/さく 福音館書店 E/キ

世界の空とつながる空港に、朝いちばんの飛行機がやってきました。きょうも空港の1日ははじまります。人、もの、車、そして飛行機のにぎやかな1日を描いた絵本。



「おとうさんはうんてんし」

平田 昌広/作 佼成出版社 E/オ

ぼくのお父さんは、電車の運転士。お父さんはどんな風に仕事をしているんだろう？日曜日、ぼくはお父さんが運転する電車に乗ってみることに…。

